

令和 6 年度

活動報告書

2024 年 4 月～2025 年 3 月



社会福祉法人せんねん村



たぶんか

多文化ルーム KIBOU

— 目次 —

| | |
|---|-------|
| 多文化ルーム KIBOU とは | 2 |
| 多文化ルーム KIBOU 2024 年度実施クラス | 3～4 |
| スタッフ紹介 | 5 |
| 通室生徒の概要 その 1 ルーツのある国 | 6 |
| 通室生徒の概要 その 2 クラスと人数 | 7 |
| 通室生徒の概要 その 3 利用者の変遷 | 8 |
| 活動報告 | |
| 【不就学クラス】 | 9 |
| 【不就園 5 歳児クラス】 | 10 |
| 【小学生 日本語クラス】 | 11 |
| 【中学生 日本語クラス】 | 12 |
| 【小中学生 一色クラス/吉良クラス】 | 13 |
| 【過年齢（16～およそ 18 歳）クラス/ 日常生活につまずきのある若者クラス：のぞみクラス】 | 14 |
| 【在園児プレスクール/おやこプレスクール】 | 15 |
| 【母語・継承語クラス/ 多言語サポート】 | 16～18 |
| 写真で見る一年 | 19～22 |
| 次年度へ向けて | 23 |

【多文化ルーム KIBOU とは】

西尾市の委託事業、外国にルーツをもつ子どもに対する就学支援事業内で設置した教室です。西尾市在住の外国にルーツをもつ子ども（5～18歳）のうち、不就学、不就園状態にある子どもに対して平等な学習の機会をもてるよう、就学・登校・学習支援をすることを目的として活動しています。

《開室日時》

火曜日～金曜日 午前9時半～12時、13時～19時半

土曜日 午前9時～12時、13時～16時半

日曜日 午前9時～12時、13時～16時半

※月、祝日、お盆、年末年始は休み。

《連絡先》

電話 (0563) 77-7457

FAX (0563) 77-0046

携帯(ソフトバンク) 070-1295-4734

E-mail tabunka.room.kibou.2014@gmail.com

ブログ <https://tabunkakibou.com>



ブログの QR コード

《場所》 445-0837 西尾市鶴ヶ崎町 6-2 アクティにしお 3階



【多文化ルーム KIBOU 2024 年度 実施クラス】

“不就園 5 歳児クラス”

どの保育所にも籍のない 5 歳児（次年度就学年齢になる子ども）の家庭を戸別訪問し、保護者と話し合いをしながら、就園をサポートします。就園させない意向の家庭や、就学まで間もない子どもには、多文化ルーム KIBOU 内でプレスクールを実施します。

“不就学クラス”

小学校や中学校に籍をおいていない子どもの家庭を戸別訪問し、保護者と話し合いをしながら、就学をサポートします。また、在留許可がない期間の学齢期の子どもを受け入れます。不登校児童生徒の登校、学習サポートの依頼がある場合は対応します。

“小学生 日本語クラス/ 小学生 一色クラス”

教科学習へつながる学習言語を習得するために、ライト教材やまとまりのある短い文章を読む練習をしながら、ポイントとなる語彙や表現をとらえる練習をします。また、見つけたことを作文し、発表するという流れの中で「聞く・話す・読む・書く」の 4 技能を強化します。

“中学生 日本語クラス”

在籍級での一斉授業と教科学習に参加できるようになることを目標としています。学校での学習項目が多く、より抽象的になり、テストも頻繁に実施されるためです。また、受験という大きな節目を経験する年代ですので、受験にむけての意識づけをしています。

“過年齢（16～18 歳の日本語学習者）クラス”

定時制高校通学生徒、高校浪人生、中卒年齢を過ぎてからの呼び寄せで渡日した若い日本語学習者を応援します。おもに、就学・進学・進級のための日本語学習をしています。

単年プロジェクト！ “日常生活につまずきのある若者クラス：のぞみクラス”

進学や就労先がなく、生活につまずきのある若者のためのクラスです。約束や時間を守りながら自立的な一日を過ごせるようになることを目的としています。

“母語・継承語クラス”

土曜日の午前中、ブラジル ポルトガル語、中国、ベトナム、南米スペイン語圏にルーツをもつ子どものための母語・継承語クラスを開催しています。講師は、外部講師やスタッフなど、各言語の母語話者です。近年、乳幼児期に渡日、あるいは日本生まれるために、保護者の母国を知らずに育つ子どもが増えてています。自らのルーツや存在に肯定的な姿勢を持つことは、人間形成に必要なことです。また、子どもの権利の観点からも、自らのルーツを知る環境を提供することに意味があると考え設置しています。

“週末開催 おやこプレスクール”

西尾市内の不就園年長児、幼稚園・保育園・子ども園に子どもを通わせる外国につながる家庭のうち、希望者が参加します。

“在園児対象 プレスクール”

西尾市内の保育所に通う、外国につながる年長児のうち、渡日歴が浅い、あるいは日本語環境が身近にないために日本語習得が進んでいない児童を対象として、指導員が巡回訪問をして日本語指導を行います。母語での寄り添いが必要な場合には、母語での対応もします。

“その他 多言語サポート”

ポルトガル語、中国語、ベトナム語、タガログ語、インドネシア語、フィリピン語（タガログ）の文書翻訳や対面通訳で、子どもとその保護者をサポートします。主に、子どもの生活や学校にかかわる事柄や、行事に関するおたよりの翻訳、面談などにでかけます。

“おとなのほんご クラス”

世界的な情勢不安や経済危機などの影響を受け、保護者の声から立ち上げたクラスです。より安定した環境で子育てをしてほしいという思いから、引き続きクラスを開講しています。

スタッフ紹介

かわかみ きみえ
川上貴美恵

責任者

西尾市出身♪
ブラジルで
暮らした経験が
あります！



こがうみえ
古賀海慧

しろま
城間かおり

指導員

ブラジル
出身です！
フレスクールを
担当しました♪

指導員 中国出身です！

ゴーティ トウ フォン

指導員

ベトナム
出身です♪
不就学クラス
担当です！



小学生クラスを
担当しました♪

カスティーヤ アンド レア 指導員

ペルー出身です！
中学生クラスと
スペイン語を
担当しました♪

ダヤダイ

ハウエル

指導員

フィリピン
出身です。

ビサヤ語

担当です♪



えもどゆうみ
江本有美

指導員 西尾市出身♪

一色、吉良クラスを担当しました！

おおはしあゆみ
大橋歩美

指導員

特定ニース
ゆっくりさん
担当です！



あさい りえ 指導員

産休中です♪



前山 マリウイク ビナリア

週末スタッフ

フィリピン出身♪
週末のクラスを
サポートします！

産休スタッフの
代わりを務めました♪



いとう
伊藤ゆかり

事務の面から
みんなを
サポートします！



週末スタッフ

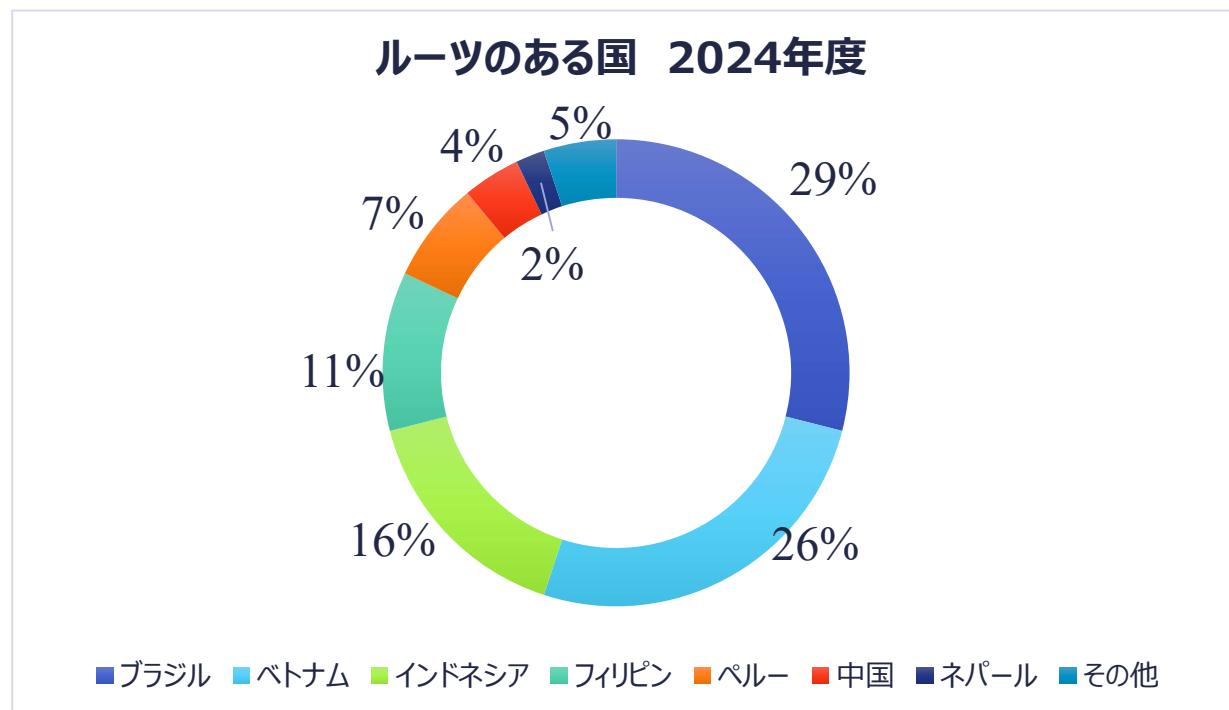
フィリピン出身♪
週末のクラスを
サポートします！

産休スタッフの
代わりを務めました♪

※他にも、有志のみなさんの協力によって成り立っています！

通室生徒の概要 その1

2024（令和6）年度は、**351**人（子ども320人、大人31人）が学習しました。



ここ数年、ブラジルルーツとベトナムルーツの子どもたちの割合が拮抗しています。ブラジルルーツの子どもたちは日系人でもともとのルーツは日本にあり、名前的一部分に祖父母の名前や苗字を持っていることが多いです。ブラジル以外でも、ペルー、インドネシア、フィリピン出身の子どもたちは、この地域では日系人であることが多く、身分による在留資格を有することが多いです。子どもは、母国と日本を行ったり来たりしながら、育つこともあります。ベトナムルーツの子どもたちは、就労目的で来日した親に連れられて来日するというが多く、親たちは母国で大学や専門学校を卒業してから来日する方が多いという印象です。

そして、特筆すべきは人数です。2019年の冬に現在の場所へと拠点を移してから登録人数が最多となりました。過去には、保護者の働く時間と子どもの生活時間が合わなかったり、交通手段がなく保護者が子どもの送迎ができず、やむなく通室をあきらめたということもありましたが、昨年度から今年度にかけて、一色地区と吉良地区での支援を開始したことで登録者が増えました。

また、その他5%と一括りで記載している部分は、多様化しています。対応しなくてはいけない言語もその数を増やしていますが、すべてに対応できているわけではありません。やさしい日本語、翻訳アプリなどを駆使し、大切な情報の収集ができるようにしています。

通室生徒の概要 その2 「クラスと人数」

| 所属 | | 年齢・学年 | 登録人数(人) |
|---|--------------------|-----------|---------|
| 不就学クラス 不就園5歳児クラス (所属のない5歳児・学齢期の子ども) | なし | 5歳児 | 5 |
| | なし | 6~12歳 | 11 |
| | なし | 12~15歳 | 8 |
| 不登校対応 (所属のある学齢期の子ども) | 小学校 | 小学1~6年 | 0 |
| | 中学校 | 中学1~3年 | 4 |
| 小・中学生 日本語クラス | 小学校 | 小学1~6年 | 115 |
| | 中学校 | 中学1~3年 | 58 |
| 過年齢クラス (中卒年齢以上の子ども) | 高校 | 1年~4年 | 2 |
| | なし | 16~およそ18歳 | 22 |
| 母語クラス | 【母語/継承語】 ポルトガル語 | 小1~6年 | 8 |
| | 中国語 | 小1~6年 | 8 |
| | ベトナム語 | 小1~6年 | 14 |
| | スペイン語 | 小1~6年 | 6 |
| 在園プレスクール おやこプレスクール | 保育所・なし | 年長 | 59 |
| おとなのにほんご | - | 19歳以上 | 31 |
| 計 | | | 351 |

今年度は、登録人数が過去最高を記録しました。人数を伸ばしたクラスは、小中学生クラスでした。一色地区と、吉良地区での出張クラスを開催したことにより、増加しました。就学前の日本語クラスであるプレスクールも、市内で新一年生になる子どもの半数以上が参加をしました。

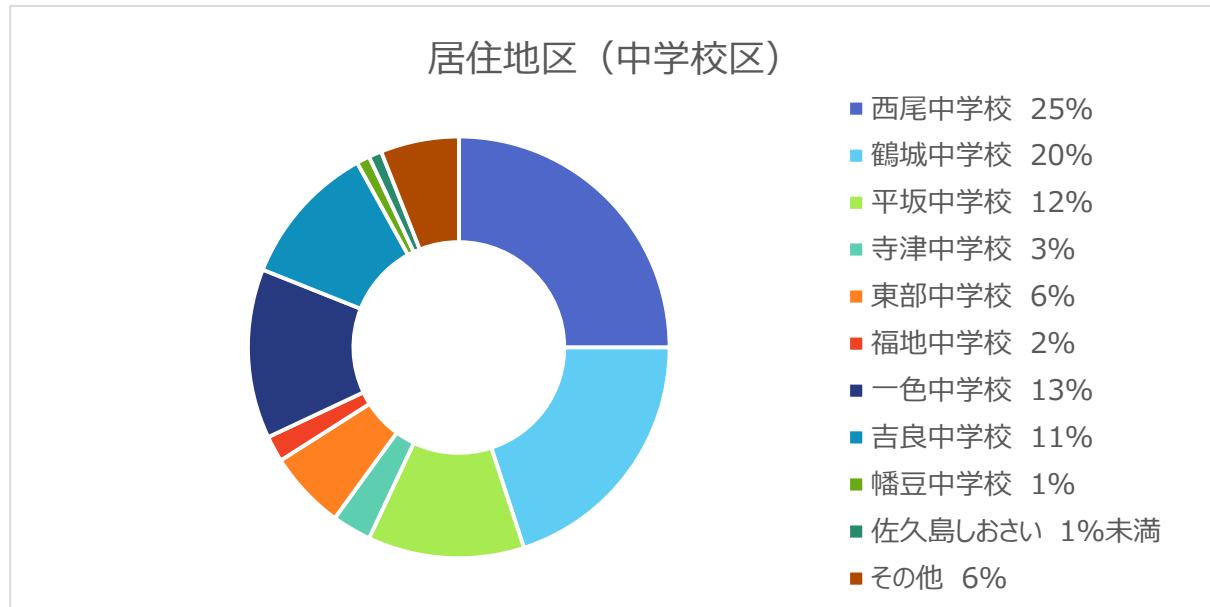
また、学齢を過ぎた過年齢クラスも 20 人を超えて、日本で進学をしたいという若者のニーズが高いことがうかがえます。愛知県では、令和 5 年度より高校受検の出願方法が web のみとなり、個人のスマホ・タブレットから登録をするという方法に変更になりました。昨年度は出願時期が早まったことや、生徒がパスワードを忘れてしまい大切なお知らせを読めないなどのトラブルが多発しましたが、そういうことを踏まえて今年度を迎えたので、生徒も指導員もスムーズに受験シーズンを乗り切ることができました。

通室生徒の概要 その3 「利用者の変遷」

過去 5 年間の利用者とルーツのある国

| 令和 2 年度 2020.4.1- 2021.3.31 | 令和 3 年度 2021.4.1- 2022.3.31 | 令和 4 年度 2022.4.1- 2023.3.31 | 令和 5 年度 2023.4.1- 2024.3.31 | 令和 6 年度 2024.4.1- 2025.3.31 |
|--|---|---|---|---|
| 239 人 | 248 人 | 273 人 | 334 人 | 351 人 |
| ブラジル ベトナム 中国 フィリピン ペルー インドネシア ネパール アルゼンチン 日本 | ブラジル ベトナム 中国 フィリピン ペルー インドネシア ネパール エクアドル 日本 | ブラジル ベトナム 中国 フィリピン ペルー インドネシア ネパール エクアドル 日本 | ブラジル ベトナム 中国 フィリピン ペルー インドネシア 日本 ネパール ホーリビア スリランカ タイ パラグアイ スペイン | ブラジル ベトナム インドネシア フィリピン ペルー 中国 日本 ネパール ホーリビア スリランカ タイ パラグアイ スペイン モンゴル |

学習者の居住地区の割合



R5 度は、西尾中、鶴城中、平坂中校区に住んでいる子どもの利用が約 70% でしたが、R6 度は 57% となり、一色中、吉良中地区の利用者増加に伴い、割合に変化が見られました。

活動紹介

【不就学クラス】



対象→ 学齢で就学していない、あるいは就学が難しい子ども

曜日→ 火曜日～木曜日 ※金曜日は家庭訪問日

時間→ 午前 9 時半～12 時

活動内容→ 学校教育課との協働で家庭訪問を行い、就学をうながす

日本語学習(会話、学校生活で使う言葉、学習につながる語彙)

生活リズムをととのえ就学準備をする、気候や天気にあった服装をする

担当より一言

前年度と同じ、今年度も引き続き KIBOU の不就学クラスは様々な国のルーツを持つ子どもが来室しました。年度末の時点で、クラスの人数は合計で21人でした。ルーツ別ではインドネシアが11人、フィリピンが6人、ベトナムが4人、ブラジルが2人、ネパールが1人でした。これは、KIBOU の不就学クラスの人数として、過去最多でした。

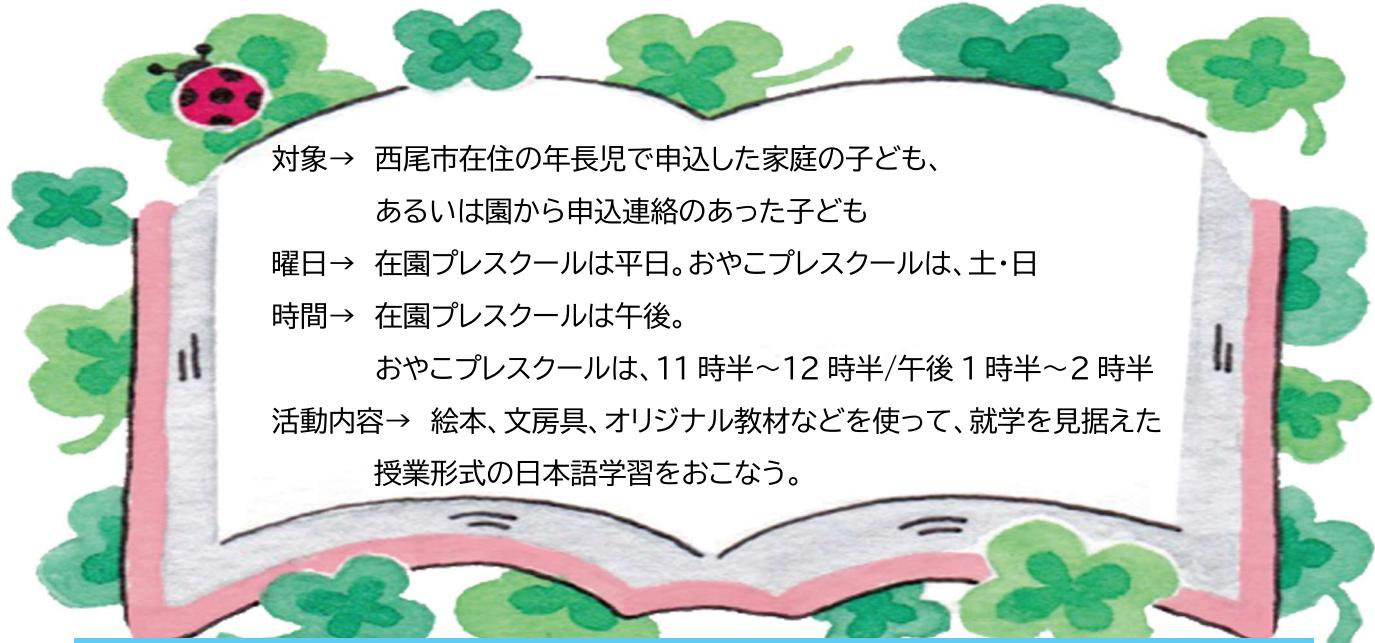
不就学クラスは平日午前に実施していて、9:30～10:30 は他クラスとの合同で一斉授業をします。10:30～12:00 は日本語学習や数学などを学習します。ほとんどの子どもは、日本に来て間もないという状況でしたので、日本語ゼロから学びはじめました。ひらがな、カタカナなど、文字を覚えるのに時間がすごくかかりました。そして九九、分数の計算、割り算など基礎な計算を学びなおす必要がある子どももいました。子どもたちは心折れず、毎日頑張って通いました。子どものなかには、渡日して急に環境が変わったことで、母国と異なることが多く、慣れるまでに時間が必要な部分も多いと思います。でも、日々少しづつ慣れていくことで、日本の生活に適応できるようになっていきます。このクラスの子どもたちは、勉強以外に、遊びや体験、遠足やお楽しみ会、祭りなどの行事や活動にも参加しました。

指導員としてどうやって子どもに早く日本語を覚えさせることができるか、どうやって日本の生活に慣れさせることができるかずっと悩みを抱えていて、先輩からのアドバイスを受けて活動の案を立てて教材の準備などを工夫しました。けれど上手くいかない時もありました。1～2か月たっても、ひらがな、カタカナや九九など覚えられない子がいて、心配しました。根気強くやり続けていく中で、少しづつ力を積み重ねた結果、ある時急に子どものやる気が出てきて、ひらがな、カタカナを覚える時期がやってきました。その時に私は感動し、やっぱりこの仕事のやりがいがあるという強い思いを持っています。さらに子どもの学校が決まった時に私は最高にうれしい気持ちでした。これからも、彼らが充実した学校生活を送ることを願ってやまないです。

ゴーティウフォン

活動紹介

【不就園 5歳児クラス】



対象→ 西尾市在住の年長児で申込した家庭の子ども、

あるいは園から申込連絡のあった子ども

曜日→ 在園プレスクールは平日。おやこプレスクールは、土・日

時間→ 在園プレスクールは午後。

おやこプレスクールは、11時半～12時半/午後1時半～2時半

活動内容→ 絵本、文房具、オリジナル教材などを使って、就学を見据えた授業形式の日本語学習をおこなう。

担当より一言

西尾市職員さんと一緒に家庭訪問する不就園・不就学調査では、母国にいる子どもと、もうすでに就園が決まっている子どもがほとんどで、不就園状態の家庭へは何度も足を運び、保護者とコミュニケーションを取りながら就園を促しましたが、就園へは繋げられず、家庭の要望でひらがなのワークブックを届けながら、その都度、就学の疑問に答えるような形で支援をしました。

不就園クラスには、4名の通室がありました。ルーツのある国は、インドネシア、ベトナム、ブラジルです。4名の内3名は就園ができ、残りの1人は家庭の事情で帰国しました。

今年度、通ってきた子のうち、日本の保育園に一度は入ったのですが、いじめに合ったと感じて退園をした子どもがいました。その子は正義感が強く、観察力も高かったため日本語が分からなくても指導員の意図を組んで行動をすることができました。そのため、他児がはしゃいだりすると許せなく、体を張って止めに入ったり、一生懸命正そうとしました。その結果、その子は他児から叩かれそうになる場面もありました。

この年代の子どもたちは、本当にいろいろなことを学んで成長をしている忙しい時期です。次年度も、見えづらい躊躇に気づけるように子どもたちと真剣に向き合い、プレスクールの活動を通じてたくさんの「できた」や「あれ?ちがったな…どうしたらいいのかな…」という経験をさせながら次のステップに進む準備を一緒にしていきたいです。

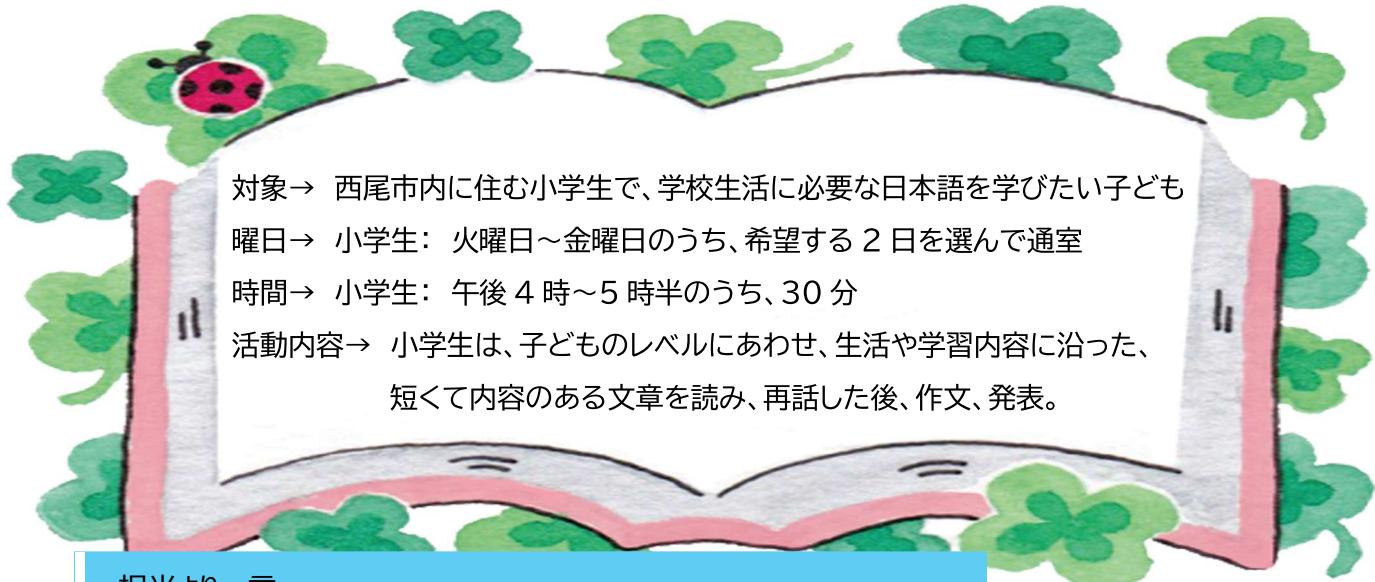
城間かおり



ぼくの夢は、水族館を作ること!
この日は、水族館に入れたい
海の生き物の絵を
みんなに見せました。

活動紹介

【小学生 日本語クラス】



担当より一言

今年度の小学生クラスには、日本生まれの子、来日したばかりの子、学校での取り出し対象になつてないがもっと勉強をしたい子、日常会話が十分にできな子、日常会話ができるでも学年相当の学習言語能力が不足している子、学習活動への取り組み自体につまずきのある子など、個別の困り感を抱えた子たちが通いました。ルーツ別でみると、ベトナム出身の割合が一番高かったです。続けて、ブラジル、フィリピン、ペルー、インドネシア、パラグアイ、オーストラリア、ネパール、スリランカ、中国、タイなどの国にルーツのある子どもが通いました。



「平仮名、カタカナが覚えられない」、「一人で宿題ができない」、「九九が苦手」、「読解が苦手」、「漢字が覚えられない」といった小学生は多いですが、一人一人に応じてさまざまな教材を用意しました。子どもたちは、楽しく一年間通うことができた様子でした。



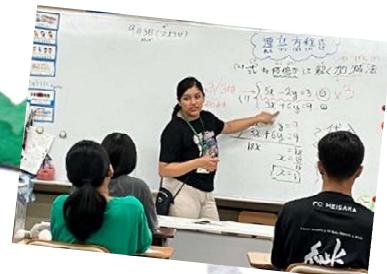
今年度は、ある子どもが特に印象に残っています。読字につまずきがあるということで通室開始しました。当初は、ひらがなの濁音や拗音などは見分けことが難しかったのですが、「平仮名の読み分けカード」を使って、トレーニングをしました。それは、集中力や記憶力、実施時の楽しさを兼ね備えた勉強方法です。日々努力した結果として、読める平仮名とカタカナが増えたり、言葉を楽しく覚えられたりする様子が見えてきました。そして、小学生クラスの子どもたちは、自己紹介カードで壁を飾ったり、「KODOMO新聞」を読んだり、季節に合わせた教室の飾り作りを手伝ったり、イベントとしてお楽しみ会に参加したりしました。さまざまな交流活動を通して、子どもたちは母語や日本語を使って、多様なコミュニケーションを取れるようになっていく姿を見せました。また、夏休みだけ通う子どももいました。作文と詩などを、やさしい日本語でサポートし、なんとか完成させて提出できたようです。「短文から作文になった!」、「好きな言葉から詩になった!」、「できない…」と言いながらも、「できた!」と嬉しそうにし、自信をつけられた子が増えました。小学校で勉強するような基礎的・基本的な知識・技能などを、日本語の学習もしながら習得し、必要な思考力・判断力・表現力などを育むということがとても大事だと思います。

これからも、子どもたちの自信満々な笑顔が増えていくように支援していきます。

古賀海慧

活動紹介

【中学生 日本語クラス】



対象→ 西尾市内に住む中学生で、教科学習に必要な日本語を
学びたい子ども

曜日→ 中学生: 1・2年生は火曜日と木曜日、3年生は水曜日と金曜日

時間→ 中学生: 午後 6 時～午後 7 時半

活動内容→ 所属クラスでの授業に参加できるように、日本語学習を
中心に実施。適宜、定期テスト対策、受験対策をおこなう。

担当より一言

今年度の中学生クラスは、ブラジル、インドネシア、フィリピン、ペルー、ベトナム、オーストラリア、ボリビア、スリランカなど、様々な国のルーツを持っている子どもが来室しました。クラスの構成は中学1年生が8人、2年生が14人、3年生が21人であり、今年度の3年生の人数は前年度より大幅に増え、椅子が足りないという場面もあったほどでした。この中学3年生の子どもたちは、全日高校、外国人生徒等選抜、昼間・夜間定時制高校を受験しました。滞日歴、学習歴、個人の能力など、多様な子どもたちがいる学年であるにもかかわらず、全員が懸命に努力し、希望校に合格することができたことに担当として満足です。

また、KIBOU に通う生徒の多くは、日本に来てまだ浅い子どもたちですが、今年度は小さい頃から日本で育ってきた子どもたちの申込も増えてきました。日本の小中学校にほとんど休まず通ってきたのですが、その大多数は話すことは上手なのですが、漢字などの、読み書きに課題を抱えています。

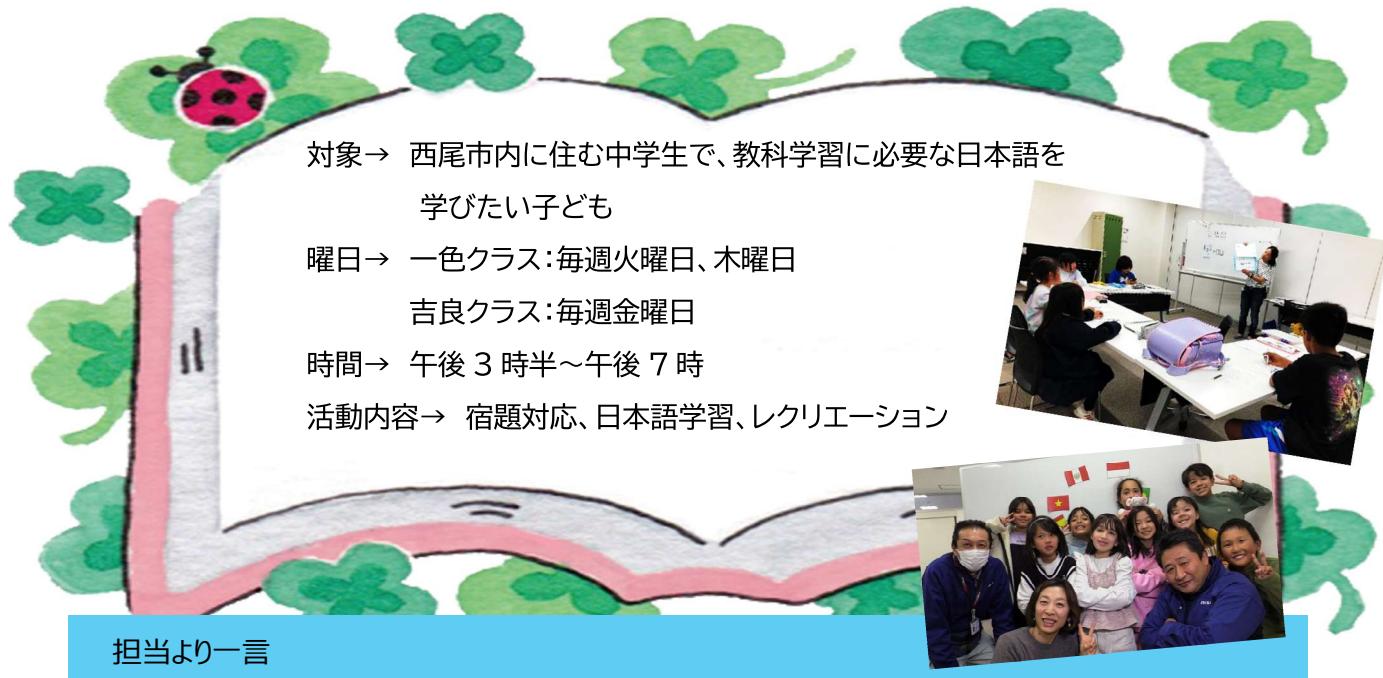
今年度の1年生と2年生の子たちは一斉授業を多く実施しました。みんな集中して数学、英語、理科、など勉強しました。各科目からキーワードを取り出して、母語で調べていくうちに、少しづつ漢字や単語を分かるようになったと思います。



来年度は、生徒たちがそれぞれ自分のニーズにあわせて、自立
学習できるように 支援をしていけたらと考えています。

カスティーヤ アンドレア

【一色クラス/吉良クラス（小・中学生）】



対象→ 西尾市内に住む中学生で、教科学習に必要な日本語を
学びたい子ども

曜日→ 一色クラス:毎週火曜日、木曜日
吉良クラス:毎週金曜日

時間→ 午後3時半～午後7時

活動内容→ 宿題対応、日本語学習、レクリエーション

担当より一言

一色クラスは、2年目を迎え、小学生に加え中学生クラスもスタート。小学生は1～6年生、中学生は1～3年生と全学年の子どもたちが通ってくれました。学習の時間が終わった後は、違う学校・学年の子どもたち同士が交流を持てるように、トランプや工作の時間を増やしました。学習では見せないような、子どもたちのリラックスした笑顔をたくさん見ることができました。中学生は今年度からスタートし、当初はたった1人だけの参加でしたが、徐々に申し込みが増え、受検生である3年生も夏休みから通い始めました。志望校合格を目指し、毎週学習に励んでいました。自習をすすめながら、分からぬところは指導員と一緒に勉強しました。志望校の合格報告を受けたときはとても嬉しかったことを今でも思い出します。



吉良町荻原地区での新規クラスは、今年度からスタートしました。こちらも一色クラス同様、小中学生が対象。初めて実施をする地域で、申し込みが来るか不安でしたが、5月から始めて申し込みが増えていき、夏休みにはなんと満席になり、申し込みに来ても座れないと断ることもありました。2人の指導員だけでは手が回らず、高校生や大学生のボランティアが手伝ってくれたこともあります。そして来日して間もない子が10月から通い出し3月の漢字努力賞テストが98点だったなど、子どもの成長も見ることができました。

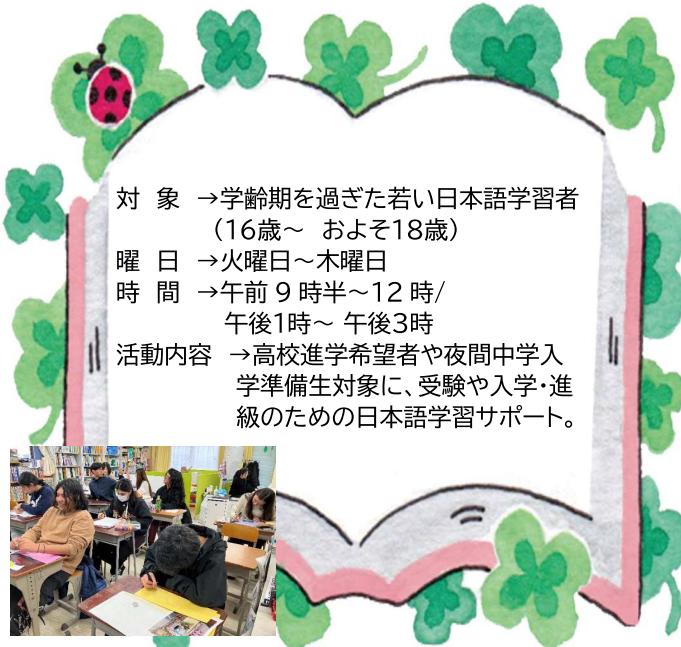
学習場所としている公共施設、きら市民交流センターでの“きらフェス”では動画の展示をしました。一人一人が日本語と母語・継承語で「夢」をカメラの前で堂々と話す姿は凛々しかったです。

今後も子どもたちどうしが交流を持てるように、アクティビティやイベントの時間を持ち、勉強では学べない経験もしてもらいたいです。

江本有美

活動紹介

【過年齢（16～18歳）クラス】



対象 → 学齢期を過ぎた若い日本語学習者（16歳～およそ18歳）
曜日 → 火曜日～木曜日
時間 → 午前9時半～12時 / 午後1時～午後3時
活動内容 → 高校進学希望者や夜間中学入学準備生対象に、受験や入学・進級のための日本語学習サポート。



学齢を過ぎた若者が日本語を学習する過年齢クラス。申込時に進学か就職かの「進路」をたずね、進路希望を確認します。ほとんどの子どもはどちらかを選択し、目標に向かって日本語学習をしていきます。

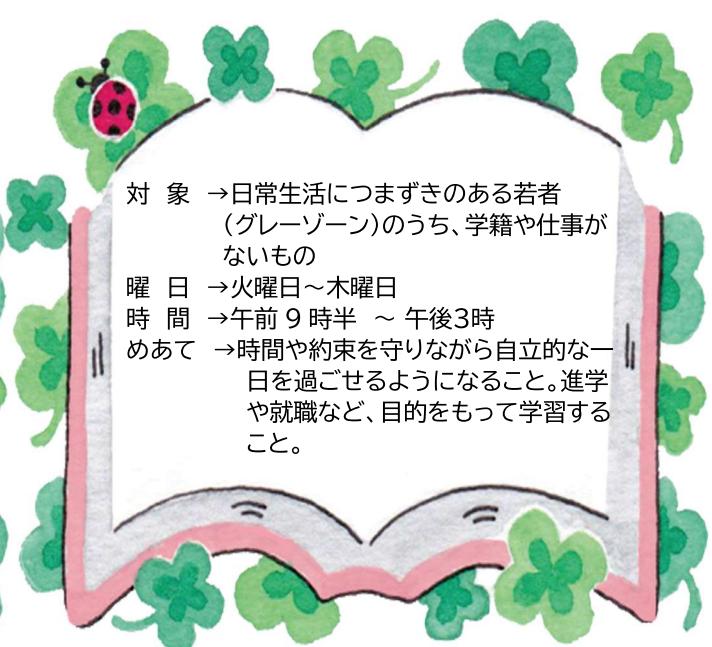
しかし今年度、進学にも就職にも興味がなく、保護者に「KIBOUに行け」と言われたので、仕方なく通っているというモチベーションが全くない生徒がいました。来日間もなかったので、簡単な挨拶やひらがながら勉強しましたが、日本語に興味がない様子。学習したこと、一週間経つと文字や内容を忘れてしまう状況が半年ほど続きました。通室当初から何度も生徒と保護者と進路について話をしましたが、半年経っても結論は出ないままでした。いよいよ受験シーズンが近づき、進学するのなら準備をしっかりと必要があったため、再び話し合った結果、出した結論は「進学」。進学と決めた瞬間からその生徒の顔つきが変わり、積極的に学習をするようになりました。定時制高校受験に必要な日本語での面接や作文も、想定される質問集の内容を一所懸命覚え、見事合格！「目標」を持つことはとても大切なことと実感しました。

この生徒のように進学も就職もせず、何をやっていきたいのか分からず、不規則な生活を送っている若者も KIBOU に通うことがあります。日本で生活する以上日本語は必要不可欠です。少しでも彼らの道を切り開くことが私たち日本語指導員の役割だと思っています。

今後も生徒には「目標」を持つ大切さを伝え、彼らの未来のために日本語学習に励んでほしいです。

江本有美

【日常生活につまずきのある若者クラス：のぞみクラス】



対象 → 日常生活につまずきのある若者（グレーゾーン）のうち、学籍や仕事がないもの
曜日 → 火曜日～木曜日
時間 → 午前9時半～午後3時
めあて → 時間や約束を守りながら自立的な一日を過ごせるようになること。進学や就職など、目的をもって学習すること。

このクラスは、文科省の単年委託事業として実施したものです。設置の目的は、1日を自立的に過ごせるようになること、進学先・就労先を見つけて目指すこと。それに向けて、学習や生活面の支援を行いました。明るくにぎやかな日々になりましたが、彼らは最初、消極的でした。それは彼らが今まで、がんばっているのに「怠けている」と言われ、その都度「しっかりしなさい」と怒られてきたことを物語っているようでした。

そもそも、なぜ日常生活でつまずいてしまうのでしょうか。彼らが悪い？一決してそうではありません。それを乗り越えるために必要なものに、出会えていないのです。彼らはいつも自分の気持ちと向き合い、本人なりに精一杯考え行動していました。そんな彼らの良さを存分に発揮できるまで伴走することが、私たちの役割です。

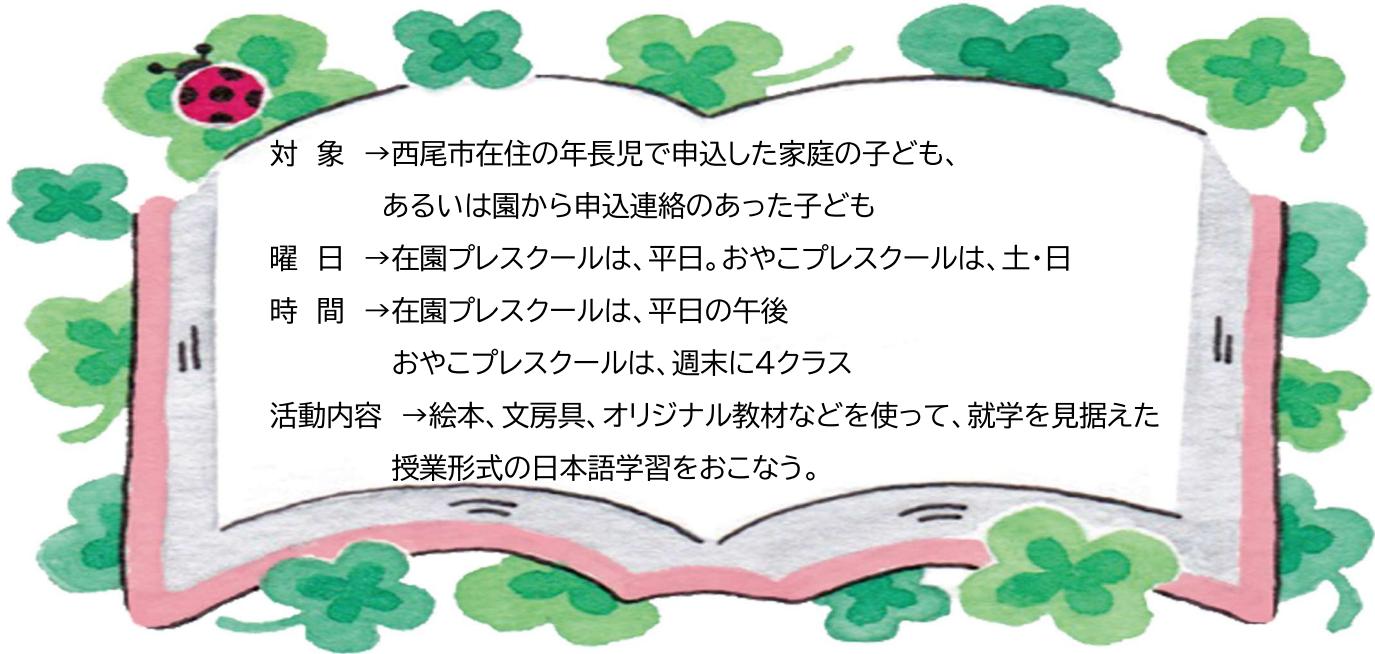
“Nothing about us without us”（私たち抜きに私たちのことを決めるな）という言葉があります。次年度も、若者たちの気持ちや考えを尊重しながら、生きづらさが緩和される環境づくりができますとと思います。

大橋歩美



活動紹介

【在園児プレスクール / おやこプレスクール】



対象 → 西尾市在住の年長児で申込した家庭の子ども、

あるいは園から申込連絡のあった子ども

曜日 → 在園プレスクールは、平日。おやこプレスクールは、土・日

時間 → 在園プレスクールは、平日の午後

おやこプレスクールは、週末に4クラス

活動内容 → 絵本、文房具、オリジナル教材などを使って、就学を見据えた授業形式の日本語学習をおこなう。

担当より一言

今年度は、週末開催の「親子プレスクール」と、指導員が出張して幼・保・こども園の通常保育時間内で実施する「在園プレスクール」合わせて 59 名の参加がありました。



指導員が出張して実施する在園プレスクールは、園からの申込と保護者の許可を得て対象児を決めるので、園生活の様子を聞き、先生方の力を借りしながら、子どものニーズに合わせて進めました。



秋から始まった週末の親子プレスクールでは、他の年と比べて渡日 1 年未満の子どもの参加が多かったため、例年使っている教材に加え、新しく、園生活で役立ちそうな表現を「語彙カード」でたくさん言う練習を取り入れてみました。子どもたちのためを思って導入した「押した」「蹴った」「叩いた」でしたが、気が付くと、一人の保護者が静かに自分のかばんからノートを取り出し一生懸命メモを取り始めました。それを見て、プレスクールは、単なる小学校へ上がる前の日本語クラスではなく、子どもを含め海外で子育てをしている保護者にとっても準備期間であると改めて感じました。

今年度も親子ともども真剣な表情、笑い合っている表情、いたずらな表情、親に注意をされて泣きそうな表情など、忘れられない姿がたくさんありました。次年度も、参加する親子にとって有意義な時間になるよう努力していきたいです。

城間かおり

【多言語サポート】

対象 → 日本語での会話・書類記入などが難しい保護者に対応するために翻訳・通訳支援を必要とする小中学校など、子どもの教育や育ちに関わる機関

曜日・時間 ポルトガル語： 火～金 ⇒ 午前9時半～午後6時

土 ⇒ 午前9時～午後5時

中国語： 火～金 ⇒ 午前10時半～午後7時半

土 ⇒ 午前9時～午後5時

フィリピン（タガログ）語：火～金 ⇒ 午前10時半～午後7時半

日 ⇒ 午前9時～午後4時

ベトナム語： 火～金 ⇒ 午前9時半～午後5時

土 ⇒ 午前9時～午後5時

インドネシア語： 日 ⇒ 午前9時～午後1時

【母語・継承語クラス】

【中国語担当より】

在多文化教室 KIBOU 的教育文职工作是一项非常有意义的工作。我非常感谢被聘参与这项工作的运营，实施和发展计划等等。语言是交流沟通的桥梁。我的工作主要是中文翻译和辅导中小学生日语。并且在周六开设了母语（继承语）学习班（少儿拼音基础汉语讲座）。语言是链接父母与子女之间的感情纽带。KIBOU 中文班为西尾市附近在住的华裔子女提供了良好的汉语学习环境。去年我们参加了「アクティにしおまつり」的母语班中文成果发表，孩子们以中文儿歌，与日语歌曲大合唱赢得了大家的鼓励和掌声。我们季节性的开展了各种小活动。有六一儿童节的小抽奖，圣诞节的小手工，新年初笔的「福，巳」，年度学习发表会等等。在学习中文的同时师生一起做手工，一起做游戏，快乐无比。我们继续做好教室清洁，让来 KIBOU 学习的孩子们家长们安心放心。随着年龄的增长，通过扎实实地汉语拼音的学习，孩子们逐步熟悉了拼音拼读能力，儿歌童谣朗诵能力和词汇短句的理解能力都有了小小的进步。希望孩子们的中文在今后的学习中不断取得进步，信心十足，学有所用。



言葉はコミュニケーションの架け橋です。多文化ルーム KIBOU での毎日はとてもやりがいのある仕事です。私の仕事は、主に中国語の翻訳と、子ども向けの日本語学習指導です。また、土曜日には母国語（継承語）学習教室（子どもを対象に、ピンイン基礎からの読み、書きを中心に学ぶ講座）を開いています。言葉は、子どもと親の大切な絆です。日本生まれの中国ルーツを持つ子どもは、地域にたくさん住んでいます。子どもたちは、学んだ中国語の勉強を通して、きっと、もっと親子の絆を深めることができると思います。昨年は「アクティにしおまつり」の母語クラスの成果発表会に参加し、子どもたちは中国語の童謡や、日本の歌の合唱で、みんなの励ましと拍手を受けました。中国語クラスは、季節に応じてさまざまなイベントを行いました。中国の「こどもの日」、クリスマスパーティ、お正月の書初め「福、巳」、年度学習発表会など。子どもたちは学んだ中国語を活かして、勉強しながら、工作をしたり、ゲームをしたりしました。子どもたちは、年齢の成長とともに、ピンインに慣れていることで、ピンインを読む能力、童謡の音読能力、単語や短文を読んで理解する能力を徐々に習得しているようです。子どもたちの中国語がさらに上達し、将来の多言語の学習に役立つことを願っています。 古賀海慧

【ポルトガル語担当より】

Este ano, nosso tema foi: sentir o Brasil mais perto e conhecê-lo melhor. Para isso, promovemos um intercâmbio on-line com professores do Centro de Língua Japonesa de São Paulo. Antes disso, pensamos com as crianças o que queríamos saber sobre o Brasil. “Qual é o melhor doce do Brasil?”, “Está frio aí no Brasil agora?”, “Por que há tantos ladrões no Brasil?”, etc. As crianças ficaram mais interessadas na última pergunta. Uma criança fez essa pergunta ao professor e recebemos uma resposta muito esperançosa que me marcou. A resposta foi: “O Brasil é um país muito jovem, que existe há apenas 500 anos e está em fase de crescimento, portanto, há muitas coisas erradas, mas com certeza se tornará um país melhor no futuro. Eu também acredito nisso. Ano que vem, desejamos continuar a criar oportunidades para as crianças conhecerem o país maravilhoso que é o Brasil.



ポルトガル語クラスではブラジルをもっと身近に感じて、知ってもらえるようにブラジル・サンパウロ日本語センターの先生とオンラインで交流会をしました。その前に子どもたちとブラジルについて知りたいことを一緒に考えました。「一番おいしいお菓子は何?」「今、ブラジルは寒い?」「どうして、ブラジルには、どろぼうがたくさんいるの?」など、子どもたちが一番気になっていたことは最後の質問の治安についてでした。この質問を当日、ブラジルの先生にぶつけてみたところ、とても



希望の持てる答えが返ってきたことがとても腑に落ちて印象に残りました。それは『ブラジルという国ができてからまだ500年くらいしか経っていないくて、とても若い国で成長をしている段階だから間違ったことがたくさんあるけれど、これからぜったいもっといい国になっていく』というものでした。私もそれを信じたいと思いました。それから、次年度も引き続きブラジルの素敵的一面をもっと知ってもらう機会を作っていくことを思っています。

城間かおり



【フィリピン語担当より ①】

I started working at KIBOU last April as an instructor. I assisted in teaching weekday classes, weekend adult Japanese classes and OYAKO Preschool. I also did translation and interpretation for Filipino. When translating and interpreting, I focus on accuracy. And in helping children with their studies, I try to adapt my methods to their individual limitations. I was very happy to see almost all of the students passed the entrance exam after studying hard and practicing for their interviews. I will never forget the knowledge and experience I gained at KIBOU and will continue my activities.

僕は昨年4月から指導員としてKIBOUで働き始めました。僕の仕事は、平日の小中学生クラス、週末の大人の日本語クラスとおやこプレスクールの指導補助でした。フィリピン語/英語の翻訳や通訳もしました。翻訳や通訳では正確さを重視し、何度も確認しながら慎重におこないました。子どもたちの学習支援の場面では個々のレベルに合わせられるようにと心がけています。また、高校進学を目指して学習している過年齢クラスの生徒は、フィリピンから日本に来たばかりの生徒もいましたが、一生懸命勉強し面接の練習を重ねた結果、全員が合格できることを大変うれしく思いました。僕はこれからもKIBOUで得た知識や経験を忘れずに、活動していきたいと思います。

ダヤダイハウエル

【フィリピン語担当より ②】

Ako si Maeyama Marivic, tagasalin ng wikang tagalog. Tuwing linggo ay tumutulong ako sa Oyako Preschool at Club ng mga may edad na nag aaral ng wikang hapon. Ang pag-aaral ng pagsulat, pagbasa, pakikinig ay kakayahan upang magkaroon ng tiwala sa sarili. Sa preschool, may mga batang mahiyain sa una, mayroon din na sobrang aktibo. May mga bata rin na gustong maupo sa tabi ng tagagabay. Sa ganitong situasyon, sinusuportahan namin ang mga bata. Ang mga napag aralan ng mga bata ay magagamit din sa bahay at paaralan. Ipinapakita ng mga bata sa magulang ang kanilang mga ginawa at ipinagmamalaki ito. Tuwing linggo ng preschool, masaya akong sumasalubong sa mga magulang at bata. Masigla sila at iyon ang nagbibigay sa akin ng motibasyon. Patuloy kung gagawing makatulong at mapaunlakan ang iba't ibang bata.

タガログ語通訳者の前山マリヴィクです。日曜日に、おやこプレスクールや、大人の日本語クラスでお手伝いをしました。学習することで、書くこと、読むこと、聞くこと、話すことという技術は自分自身のレベルアップにつながります。プレスクールでは、最初は恥ずかしいがりやの子ども、とても元気な子ども、指導員のとなりに座りたい子どもなどがいます。このような時は勉強についていけるように私たちは対応します。子どもたちが学んだ事はお家のコミュニケーションでも、学校に入ってからも使えます。子供は活動中に何かができると、うれしくて両親に見せる時はとても誇らしそうです。こういった子どもたちの姿を見ることはうれしいことですので、毎週日曜日プレスクールの親子を迎えるのは楽しいです。みんな元気で、私にもモチベーションがもらえます。これからも、いろんな子どもたちに対応出来るように頑張ります。

前山 マリヴィク ビナリア



【スペイン語担当より】

Este año lectivo, se pudo dar comienzo a la “clase de español para niños”. La idea principal de esta nueva clase es que los niños con raíces hispanohablantes puedan aprender a desenvolverse en español.

Un 90% de los niños inscritos en esta clase, han nacido y crecido en Japón, por lo que, en su entorno no suele usarse mucho el idioma español.

El “español” es un idioma hablado en varios países, por lo que, este año he tenido alumnos de distintas nacionalidades, tales como: peruanos, paraguayos, bolivianos, ecuatorianos, etc.

Durante este año, los niños han ido progresando poco a poco aprendiendo el español. Todos comenzaron desde cero con el ABECEDARIO y han terminado este año aprendiendo a leer y escribir oraciones cortas en letra imprenta.



Durante las clases hemos hecho distintas actividades didácticas y juegos infantiles que les ha gustado mucho a los niños. Dentro de estas actividades, la que más destacó fue la participación que hicimos en el “Festival de Acty Nishio”. Nosotros presentamos un baile muy característico de la costa peruana y a pesar de ser la primera vez de todos bailando, lo hicieron muy bien y lo más importante es que todos se divirtieron mucho haciéndolo.

Espero que todos los niños se den cuenta que el español es un idioma muy divertido y rico para aprender. Quiero que pierdan el miedo al equivocarse en la pronunciación, porque sé que mientras más se equivoquen más aprenderán.

El año que viene, tengo muchas expectativas e ideas nuevas para la clase, los estaré alentado a seguir aprendiendo sobre sus raíces y costumbres.

Andrea Castilla



今年度、「子どものためのスペイン語クラス」を開始しました。この新しいクラスの目的は、スペイン語圏にルーツを持つ子供たちが、スペイン語の文法など、その機能を学ぶことができるということです。

このクラスに在籍する子どもたちの約 9 割は、日本で生まれ育った子どもたちです。

スペイン語は複数の国で話されている言語なので、今年度はペルー人、パラグアイ人、ボリビア人、エクアドル人など、さまざまな国籍の生徒が集まりました。

この 1 年間、子どもたちは少しずつスペイン語を学んできました。ゼロから ABC を学び、短い文章の読み書きができるようになりました。授業では、様々な活動やゲームを行い、子どもたちはとても楽しんでいました。その中でも特に目立ったのは、「アクティ西尾まつり」への参加でした。ペルーの海岸に伝わる伝統的な踊りを発表したことです。みんな初めて踊ったにもかかわらず、とても上手に踊れました。

スペイン語は学ぶのがとても楽しく、豊かな言語であることを、すべての子どもたちに知ってほしいです。また、発音を間違えることへの恐れをなくしてほしいです。なぜなら、間違えれば間違えるほど、より多くのことを学べるからと思います。

来年は、このクラスにたくさんの新しい期待とアイデアを持っています。皆さんのが自分たちのルーツや習慣について学び続けることを応援していきます。

アンドレア カスティーヤ

写真で見る 一年



フードバンクのお手伝い（通年）

西尾市ではフードバンクが活発に活動していて、困難な状況で暮らす方へ食料支援をしています。また、市内各地区で有志の方による子ども食堂も開催されています！
私たちは、ファミマフードドライブで集まった食品をフードバンクへ届けるお手伝いをしています。生徒にとっても、地域の活動を知る良い機会となっています。

自己紹介の木

壁いっぱいに、子どもたちが自己紹介カードを貼りました。これは、毎年恒例となっていますが、カラフルで個性的な自己紹介に、感心させられます。



おとなの日本語クラス 開催延長

世界的な政情不安、燃料費高騰など、不安定な雇用状況で働く人たちを直撃し続けています。子どもの育つ環境を安定的ものにすることを目的として、このクラスを継続することにしました。

春の遠足

平日の昼間に勉強をしている、不就園・不就学・過年齢クラスの子どもたちみんなで、蒲郡の博物館へ遠足に行きました。下調べをたくさんして、しおりを作って、期待値を高めて出発！日本で初めて電車に乗る子もいて、とってもよい経験となりました。



トイレアートプロジェクト参加♪

夏休み期間中、不就園・不就学・過年齢クラス合同メンバーで、子どもの国駅にあるトイレにかわいらしい絵を描くプロジェクトに参加しました。アーティストさんの下絵からはみ出さないように、子どもたちも真剣な表情です！永く形に残る作品に参加できてよかったです。



多言語による就学説明会

七夕

がんばって勉強している
子どもたちへ、
七夕のプレゼント！
飾りつけの折り紙や
短冊には、
子どもたちの願いが
込められています。



“多言語による就学説明会”は、8月末の土曜日に開催することが恒例となっています。今年も、熱心な保護者さんが大勢参加してくれました。下のQRコードを読み込むと、就学についての疑問や不安が解消できる短い動画を見ることができます！

にほんご

ポルトガル語 (Português)

中国語 (中文)

ベトナム語 (Tiếng Việt)

スペイン語 (Español)

タガログ語 (Tagalog)

インドネシア語 (Bahasa Indonesia)

ネパール語 (Nepali)



おたのしみ会

子どもどうしの交流を目的とした“おたのしみ会”を
昨年に引き続き開催しました。
小さい子はあちこち走り回って楽しみ、
中高生たちは、準備をしたり、
会の大切な係をしました。
おつかれさまでした！



県警コラボ企画 生活安全講話

～薬物・SNSの危険～

ゲームやSNSなど、スマホばかり見ている子どもがとても多いです。10代が巻き込まれやすい犯罪、とくに薬物とSNS上のトラブルなどを、わかりやすく解説していただきました。





収穫体験

協力者のご厚意により、キャッサバの収穫体験をしました。背丈より高く育った茎を切り落として、しっかり根付いている芋を力いっぱい引つ張って収穫しました。

お家でおいしい料理になったかな？



アクティにしお祭り

母語クラスの子どもたちが、
それぞれの国の歌や
ダンスを発表しました。
お客様の拍手が
とってもうれしかったね！



1月 2月 3月 4月
ラジオ体操は毎日します！



定時制高校の見学会

高校受検するために勉強をしている生徒が、先輩たちの学ぶ姿と、入学してからの生活、費用、進路などのお話を聞きました。
不安いっぱいだった参加生徒も安心した様子。



保育園祭り参加♪

KIRARA 保育園のお祭りへご招待いただきました！
かねんクラスの生徒たちは、“へんてこ さかなや”という名のスタンプ屋さんを出店しました。
ちいさな子どもたちが、お店に来てくれてとっても嬉しかったね！



きらフェス 初参加♪

きら市民交流センターのフェスティバルに初出展しました。吉良クラスで勉強している小中学生のみんなの自己紹介を日本語と母語・継承語で動画にして、来客者に見てもらいました。動画は、プロに撮ってもらいました！家庭で母語の練習をたくさんして来た子、初めて両親の母語を人前で話す子、子どもたちにとって良い挑戦でした。

クリスマスのプレゼント

寄付をいただいたので、子どもたちへ
クリスマスのプレゼントにしました！



どの靴下に入っている
プレゼントにしようかな～

「トイレにいってもいいですか」
じょうずに 言えたね！



干支の“へび”を作ったよ～
見て下さ～い！



いよいよ受検の季節

夜間定時の見学会へ参加したり、
過去問を解いたりして、
受検が近づいてきたことを感じ始めます。
そわそわする子、まだ余裕顔の子。いつしょに勉強
できる回数も少なくなっていました。



修了式

KIBOU での勉強も、3 月で一年が修了します。
受検も終わって、それぞれの新しい世界へ旅立っていく
みんなへ おめでとうございます！
これからも、応援しています！



『がっこうのことば』

学校でよく使われる言葉、おたより、行事名、持ち物などを
写真とともに、多言語で表記した辞書です！
対応言語は、**ポルトガル語、スペイン語、タガログ語、
英語、ベトナム語、インドネシア語**です。

KIBOU のブログから
ご覧になります。→

西尾市教育委員会
日本語初期指導教室
カラフルのウェブからも
ご覧になります。→

※QRコードは、ポルトガル語版資料です。



次年度へ向けて

2024 年度は、挑戦の一年となりました。過去最高の利用人数 351 人を数え、幅広い年代の子どもたちが大いに KIBOU を活用してくれましたので、スタッフ総出で対応や指導に追われました。鶴ヶ崎町のアクティにおいに拠点を置きながら、週3日、一色町だけでなく、吉良町へも出張して日本語を中心とした学習支援を開始したこと、利用人数増加の理由として挙げることができます。小中学校に在籍している児童生徒のうち、日本語指導の必要な子どもの人数も過去最高だとのことでしたので、当然の流れかもしれません。

利用する子どもたちが増えてくると、それぞれの課題も多様になってきます。昨年末、あるところから、発達に課題がある子どもで、進学しておらず外に出る機会もなくずっと家にいる、という相談が持ち込まれました。そこで、単年のプロジェクトではありますが、過年齢クラスのうち対象となる生徒への対応をするグループを“のぞみクラス”と名付け、“自立的な一日を過ごせるようになること”“進学・就労などの目的を意識して学習する”を目標として掲げて立ち上げました。彼らの生活の把握や、理解できて使える言語のレベルなどを把握することが大切だということになり、専門家にも相談をしてすすめました。毎日の授業では、食事・栄養や他人に意思を伝える工夫、お金の計算とその使い方など、まさに自立的な一日を過ごすための内容を実践してきました。指導員と生徒との信頼関係ができあがっていくと、次第に生徒の意思を伝える言葉が出るようになって、「～(し)たい。/ほしい。」という表現が、日記にも散見されるようになりました。こうした取り組みは、次年度も続けていきたいと考えていますが、未定です。のぞみクラスの生徒たちは、一つ一つの学びに時間がかかるかもしれませんし、すぐに成果が出るわけではありませんが、一人一人のペースでいいんだよと言ってもらえる進学・就労先に出会ってほしいと願っています。

最後に今年度を振り返ってみると、子どもたち、そして彼らを支える家族は、日本社会に飛び込んでいくために努力して、くじけそうになりながらも挑戦を続けたという姿がとても印象的でした。彼らが自らの手で未来を描けるように、次年度も活動を充実させられるようにしていきます。

2025 年3月31日

川上貴美恵

新聞に掲載されました！

スタッフの活躍、KIBOU の活動紹介など、掲載されたものを紹介します。

* 愛知県主催 外国人県民による多文化共生日本語スピーチコンテストで、フィリピン出身スタッフ、ダヤダイハウエルが一般部、特別賞を受賞しました！

* 中日新聞 2024年8月20日 西尾で目指す夢 若者5人が語る（西尾青年会議所JC主催、「Human Documentary 西尾に好循環を起こす若者」で、インドネシア出身スタッフ、アナタシアメグミが表彰されました！）

* 三河新報 2024年8月20日 “西尾青年会議所がアワード”に掲載されました！

* 朝日新聞 2024年12月24日 “増える外国籍生徒定時制が受け皿”の記事に、KIBOU の活動やインタビューが掲載されました！

* 中日新聞 2025年3月4日 “MIKAWA 人もよう 外国籍の子の就学支援”にて、川上が紹介されました！

* 中日新聞 2025年3月15日 西三河版“14人それぞれの道へ「KIBOU」巣立ち”にて、修了式の様子が紹介されました。

* 愛三時報 2025年3月14日 “多文化ルーム修了式 定時制等進学へ夢語る”にて紹介されました。